

開講科目名 / Course	老年看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	小野 美喜	
担当教員名 / Instructor	小野 美喜、堀 裕子、中釜 英里佳	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
授業回数	15	
科目の目的と概要	<p>身体に加齢変化や認知機能障害をもつ模擬高齢者の情報をアセスメントして健康課題を検討するとともに、課題となる看護技術を習得することを目的とする。事例に関する議論、高齢者疑似体験、シミュレーターを用いた技術練習を繰り返し、技術の創意工夫と実践力向上を図る。さらに社会資源や多職種連携を含めた看護援助について検討し、高齢者に対するケア実践を模索する。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者事例の情報をアセスメントし健康課題が説明できる。 2. 高齢者事例に必要な看護技術が安全に実施できる。 3. 高齢者事例に必要な社会資源と多職種連携が述べられる。 4. グループ活動内で協働ができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心豊かな人間性・倫理観、2. 科学的思考力、3. 看護の基盤となる専門知識・技能、4. 連携協働・リーダーシップ、6. 探求心と創造力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 演習ガイダンス 課題の情報確認 02. 課題事例情報のアセスメント：グループワーク 03. 課題事例のアセスメント：全体討議 04. 課題事例の援助の方向性：グループワーク 05. 課題事例への援助技術シミュレーション・トレーニング：食事の誤嚥予防 06. 課題事例への援助技術の振り返り：食事の誤嚥予防 07. 課題事例への援助技術のシミュレーション・トレーニング：スキンケア・創傷処置 08. 課題事例への援助技術の実施：スキンケア・創傷処置 09. 課題事例への援助技術のシミュレーション・トレーニング：経管栄養 10. 課題事例への援助技術の実施：経管栄養 11. 課題事例に必要な社会資源と多職種連携 12. 課題事例に必要な社会資源と多職種連携 13. 課題事例に必要な社会資源と多職種連携 14. 社会資源と多職種連携（全体発表） 15. まとめ 	
その他の授業の工夫	学生間でのグループディスカッションによってアセスメントや技術の習得を深めます	
時間外学修	<p>事前学修：各授業範囲の内容はテキストで予習をする（2h）。技術練習をする（2h）。 事後学修：課題レポートをまとめる（8h）。</p>	
評価方法と評価割合	<p>個人レポート（75%） グループ活動への参加姿勢（25%）</p>	
テキスト	系統的看護学講座 老年看護学 基礎看護技術（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件	老年看護学概論、老年看護学援助論 を履修済みであること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	<p>小野美喜：病院の看護師 堀裕子：病院の看護師 中釜英里香：病院の看護師</p>
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護師の実務経験を通して高齢者のケア計画や実践に関するディスカッションをサポートします。	